

セレッソ大阪堺ガールズ

XF CUP 2022第4回日本クラブユース
女子サッカー大会(U-18)



- ◆概要
- ◆狙い
- ◆課題・成果

<概要>



期 間:2022.7.31(月)~8.8(月)

※8月1日・3日 クラブユース U18観戦

場 所:群馬県内天然芝グラウンド

参加者:スタッフ4名(日高・今井・上野・池田)

選手20名

ホテル:7月31日~8月4日 ホテルサンダーソン

8月5日 ホテルルートイン藤岡

8月6日~8月8日 ビジネスホテル伊勢崎平成イン

<概要②・グループステージ>



Aグループ 順位	チーム名	勝点	勝	引	敗	得点	失点	得失点
1	ノジマステラ相模原(関東①)	9	3	0	0	3	0	+3
2	セレッソ大阪堺(関西①)	4	1	1	1	9	4	+5
3	ジェフ千葉(関東⑤)	4	1	1	1	7	4	+3
4	福山ローザス(中国①)	0	0	0	3	4	15	-11

2022年8月1日
08:45

•セレッソ大阪堺ガールズ(関西①)8-2福山ローザスレディース(中国①)
コーエイ前橋フットボールセンターC

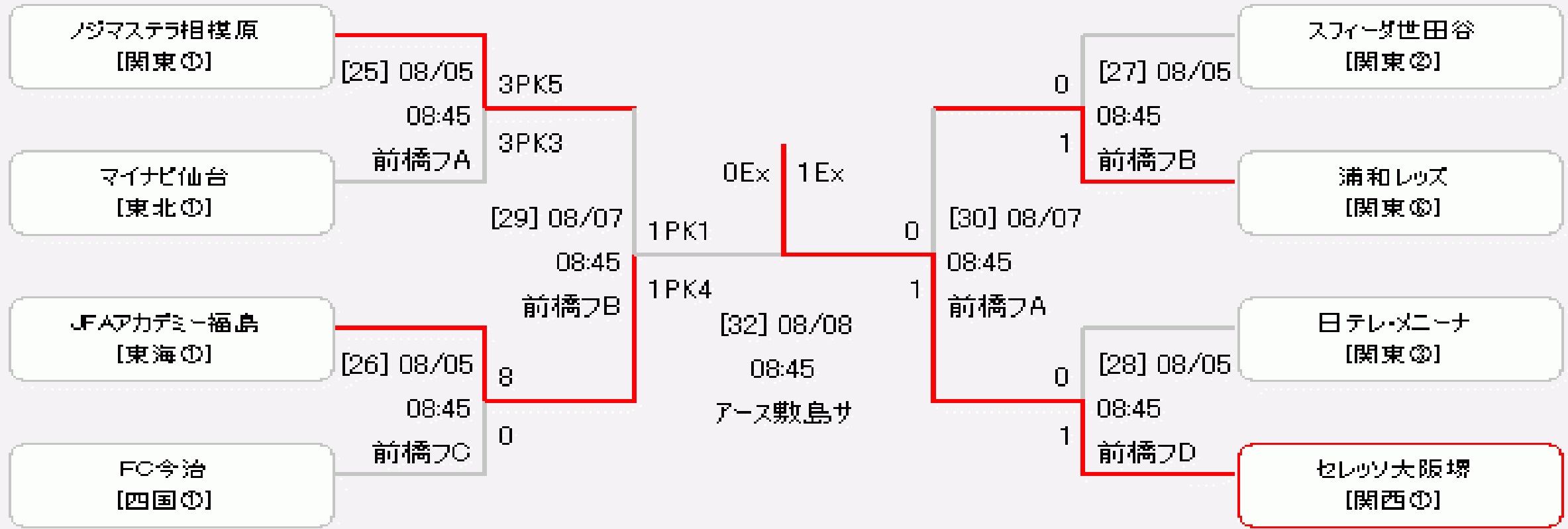
2022年8月2日
08:45

•セレッソ大阪堺ガールズ(関西①)1-1ジェフユナイテッド市原・千葉レディースU-18(関東⑤)
県立敷島公園補助競技場

2022年8月4日
08:45

•ノジマステラ神奈川相模原ドゥーエ(関東①)1-0セレッソ大阪堺ガールズ(関西①)
コーエイ前橋フットボールセンターB

< 概要③・ノックアウトステージ >



<概要④>



大会MVP: 名和咲香



◆チームコンセプトの発揮
→攻守においてボール・体・頭・相手を操る
→前線の繋がり

◆個人戦術の向上
→状況変化の理解

◆全国における自分たちの立ち位置を確認
→関西以外の強豪チームとの対戦

①プレーの選択肢

ディフェンシブゾーンで横や後ろを選択する選手が多かったが、試合を重ねるに連れて、前を選択出来るようになった。

→観るタイミングや技術への拘り、選択への寛容

②中盤・前線の選手の受ける位置

ボールの状況に合わせて、間や相手の背中、背後で受けられるようになった。→CBの運ぶ

①ボールの奪う場所

原理原則を理解する。チームとしてボールをどこで奪うのかを整理することで、選手の役割が明確になった。それにより力強い守備が出来た。クラブコンセプトの発揮→相手のボールを操る

②セットプレー

全6試合 被CK 28本/失点1

ボール状況に応じたサポート

- ・ 持ち方、プレッシャーの掛かり方を観る。

FWの動き出し

- ・ 同上。いつDFに仕掛けておくかを明確にする。体の向き。

技術

- ・ 止める、蹴る、運ぶといった、ボールを扱う技術の向上。
- ・ 基準の設定

個人戦術

- ・ ステップワーク、判断。ボール状況に応じた立ち位置。

状況理解

- ・ アンバランスな中での状況理解のスピード